

「更級」の名よきりば

大岡村合併で
地名消滅へ 専門家「歴史的な事件」

長野市などの合併について、更級郡大岡村は、賛成多数となった11月30日の住民投票の結果を受けて、合併に大きく踏み出した。だがその合併に伴って「更級郡」が消えることが確実な情勢だ。奈良時代の木簡に記されるなど、「更級」という地名は千年以上も続いていると考えられ、専門家からは「地域史に見ると大事件」という声が上がっている。

大岡村の住民投票で 31票、「反対」が46票、合併に「賛成」が75票だった。大平嘉久雄



The ASARI SHIMOUR

村長は「予定通りと合併に向けて意欲を示した。

現在、大岡村は唯一の更級郡の町村。「角川日本地名大辞典」(角川書店)によると、更級郡は明治元年には約90町村あったが、「川中島町」「篠ノ井市」などに合併を繰り返して長野市に編入されたり、上水内郡信州新町や埴科郡坂城町に吸収されたりした。埴科郡にあった更級村も1955年に市制時に、今年

の夏には上田町も千曲市になった。

「更級(科)」という地名の歴史は古い。果丈・生産字書録によると、千曲市の歴代連勝群からは上田、8世紀・奈良時代の木簡に「信濃国更級郡」と記されていたという。

同族文化財保護協会の福島正樹指導主事は「8世紀以前は、更級郡と埴科郡は一緒に『科野郡』だったという実態がある。つまり『信濃』のルーツで、歴史的に非常に価値のある地名。消滅は大事件」と話す。

ただし、観光面への影響については、「更級の各月」などかなりの地名が多い千曲市の観光課は否定的だ。「元のはあくまで温泉です」と主張する。

「更級」との関係者の反応も冷静だ。信州そ

は協同組合は「更級地蔵で作られたという説はあるがはっきりしない。田んぼを使ったそばの総称という形で全国的に広がっており、地元業者に影響はない」と分析する。

市川徳夫館長は「更級地区は長野市の豊川南から更級郡北都までの広い地域。行政上は消えても、そばや各月など伝統的な風物は残していかなければならない」と指摘している。

朝日新聞 (2004 年 12 月 10 日)